

野菜類一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						軟腐病	べと病	褐斑細菌病	黒腐病	斑点細菌病	うどんこ病	灰色かび病	ハダニ類
1	ICボルドー66D		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-	-
2	インプレッションクリア		-	バチルス アミロリク エファシエンス	BM2	-	-	-	-	-	○	○	-
3	エコショット		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	-	-	-	-	-	○	-
4	クプロシールド		普	銅	M1	○	○	-	-	○	-	-	-
5	クリーンカップ		普	1.バチルス ズブチリス 2.銅	BM2,M1	-	-	-	-	-	○	○	-
6	コサイド3000		普	銅	M1	○	-	○	○	○	-	-	-
7	ドイツボルドーA		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-	-	-
8	ボトキラー水和剤		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	-	-	-	-	○	○	-
9	硫黄粉剤50		普	硫黄	I:UN F:M2	-	-	-	-	-	○	-	○

野菜類(いも類を除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						枯病アリビ 病害菌ゾシ 等へにクウ 苗よトム 立るニ・
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○

野菜類(キャベツを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						軟腐病	べと病	褐斑細菌病	黒斑細菌病	黒腐病	斑点細菌病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	○	○	○	○

野菜類(すいか、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、ねぎ、わけぎ、あさつき、いちごを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病		
1	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	○		

野菜類(トマト、ミニトマトを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病	さび病	灰色かび病
1	カリグリーン		普	炭酸水素カリウム	NC	○	○	○

野菜類(なすを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						軟腐病	白さび病	うどんこ病
1	ジーファイン水和剤		普	1.炭酸水素ナトリウム 2.銅	NC、M1	○	○	○

野菜類一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アオムシ	コナガ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ハイマダラノメイガ	ウリノメイガ	シロイチモジヨトウ	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	うどんこ病	
1	アカリタッチ乳剤		普	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
2	エスマルクDF	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	スパイカルEX		-	ミヤコカブリダニ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
4	スパイカルプラス		-	ミヤコカブリダニ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
5	チューンアップ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	デルフィン顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
7	トアローフロアブルCT		-	BT	11A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	フーモン		普	ポリグリセリン脂肪酸エステル		-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	
9	ムシラップ		普	ソルビタン脂肪酸エステル		-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	
10	粘着くん液剤		普	デンペン		-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	

野菜類(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	うどんこ病
1	エコピタ液剤		普	還元澱粉糖化物		○	○	○	○

野菜類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						うどんこ病	ハダニ類	アブラムシ類	コナジラミ類
1	サンクリスタル乳剤		普	脂肪酸グリセリド		○	○	○	○

野菜類(いちご、トマト、ミニトマトを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						コナジラミ類	ハダニ類	チャノホコリダニ	うどんこ病
1	サフオイル乳剤		普	調合油	F:NC	○	○	○	○

野菜類(キャベツ、はくさいを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	オオタバコガ	シロイチモジヨトウ	ハスモンヨトウ
1	ゼンターリ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	○	○

野菜類(施設栽培)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名						
						ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ダ ニ 類	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ	オ ン シ ツ コ ナ ジ ラ ミ	ハ モ グ リ バ エ 類
1	アフィパール		-	コレマンアブラバチ		○	-	-	-	-	-	-
2	エンストリップ		-	オンシツツヤコバチ		-	○	-	-	-	-	-
3	ククメリス		-	ククメリスカブリダ ニ		-	-	○	-	-	-	-
4	コレトツプ		-	コレマンアブラバチ		○	-	-	-	-	-	-
5	システムミヤコくん		-	ミヤコカブリダニ		-	-	-	○	-	-	-
6	スパイデックス		-	チリカブリダニ		-	-	-	○	-	-	-
7	スワルスキー		-	スワルスキーカブリ ダニ		-	○	○	-	○	-	-
8	スワルスキープラス		-	スワルスキーカブリ ダニ		-	○	○	-	○	-	-
9	チリトツプ		-	チリカブリダニ		-	-	-	○	-	-	-
10	ツヤコバチEF30		-	オンシツツヤコバチ		-	○	-	-	-	-	-
11	ツヤトツプ		-	オンシツツヤコバチ		-	-	-	-	-	○	-
12	ツヤパラリ		-	オンシツツヤコバチ		-	○	-	-	-	-	-
13	ヒメトツプ		-	イサエアヒメコバチ		-	-	-	-	-	-	○
14	ボタニガード水和剤		-	ポーベリア パシ アーナ		○	○	○	-	-	-	-
15	メリトツプ		-	ククメリスカブリダ ニ		-	-	○	-	-	-	-

※ スワルスキープラスの販売名称:「スワルスキープラスUM」

野菜類(施設栽培、ただし、いちごを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						ハ ダ ニ 類	
1	ミヤコスター		-	ミヤコカブリダニ		○	

野菜類(施設栽培、ただし、トマト、ミニトマトを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						ア ザ ミ ウ マ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類
1	システムスワルクン		-	スワルスキーカブリ ダニ		○	○
2	スワマイト		-	スワルスキーカブリ ダニ		○	○

野菜類(露地栽培)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						ア ザ ミ ウ マ 類
1	スワルスキー		-	スワルスキーカブリ ダニ		○
2	スワルスキープラス		-	スワルスキーカブリ ダニ		○

※ スワルスキープラスの販売名称:「スワルスキープラスUM」

野菜類—うり類—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						べと 病	褐色 腐敗病 (すいか)
1	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	○	○

野菜類—うり類—うり類(成熟)—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						うどんこ 病	つる 枯病 (すいか、 メロン)	菌核 病 (すいか、 メロン)
21	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名																
						アブラムシ類	オンシツコナジラミ	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	トマトハモグリバエ	アザミウマ類	ミナミキイロアザミウマ	ウリハムシ	ウリノメイガ	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	オンシツコナジラミ幼虫	ネコブセンチュウ	うどんこ病		
1	アーデント水和剤	抑制	普	アクリナトリン	3A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アグリメック	抑制	劇	アバメクテン	6	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
9	アブロードエースフロアブル		普	1.フェンピロキシメート 2.フプロフェジン	21A、16	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	アブロード水和剤		普	フプロフェジン	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
11	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
12	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
15	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
17	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
18	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクテン	6	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
20	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
21	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
22	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
23	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
24	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	33	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																		
						アブラムシ類	オンシツコナジラミ	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	トマトハモグリバエ	アザミウマ類	ミナミキイロアザミウマ	ウリハムシ	ウリノメイガ	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	オンシツコナジラミ幼虫	ネコブセンチュウ	うどんこ病				
31	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ニツソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
34	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
35	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
36	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ブリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
39	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
41	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
44	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
45	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	モスピランジェット	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
50	ラグビーMC粒剤		普	カズサホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり(施設栽培)-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						アザミウマ類
1	バコトップ			タパコカスミカメ		○

13-(3) きゅうり (野菜類、うり類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 適用薬剤を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発芽直後に床土の表面を乾かす。
つる割病	<p>播種前、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 露地栽培の発病ほ場は5~6年の輪作を行う。 カボチャに接ぎ木する。 資材、床土消毒を行う。 (資材消毒の項、土壌くん蒸剤の項参照) 発病ほ場は土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) <p>生育期</p> <p>発病株は早期に処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネコブセンチュウ類は本病を助長する。
つる枯病	<p>播種前</p> <p>資材消毒を行う。(資材消毒の項参照)</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 地ぎわ部が過湿にならないように畝を立て、深植えを避ける。 適用薬剤を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 低湿地帯に発病が多いので、暗渠排水を行う。 定植直後から病原菌の侵入を受けやすいので、定植後に活着を確認した後からすみやかに予防に努める。 病原菌が花から侵入して褐色心腐をおこすことがある。
べと病	<p>植付前</p> <p>耐病性品種を使用する。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 排水を良好に、肥切れをさせない。敷きワラを厚くする。 湿度の低下に努める。 ハウスでは適温で管理し、株づかれをさせない。 	<ul style="list-style-type: none"> 葉のぬれた状態に保つと発病しやすく、葉の表面が乾いた状態では、葉が重なり合った部分が発病しやすい。 アリエッティ水和剤は、無機銅剤との近接散布はさける。また、無機銅剤及び葉面散布液肥との混用はさける。 リドミルゴールドMZ、フォリオゴールド、アミスター20フロアブルは連続散布すると耐性菌がでやすいので注意する。
褐斑病	<p>植付前、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 耐病性品種を使用する。 窒素施用の過多を避ける。 ハウスの換気をこまめにし、ワラ・モミガラ等を通路に敷いて、高温、多湿を防止する。 発病前に循環扇を用いたり、暖房機の送風運転を行い、空気を循環させる。 (発病後は孢子を広げ、被害を拡大させる恐れがある。) 	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の生育適温は30℃である。 ブルームレス台木に接ぎ木したキュウリは発病しやすい。 メロン、スイカ、ユウガオなどでも本病原菌で発病する。 ストロビーフロアブル、アミスター20フロアブルはアプローチBI、ニーズ等の浸透性展着剤を使用しない。連続散布をさける。 カンタスドライフロアブルに対する耐性菌の出現が報告されているので連用しない。
炭疽病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 収穫終了後、敷ワラ、茎葉はほ場外へ持ち出す。 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 多雨時に発病が多いので予防散布が特に重要である。 菌の生育適温は23℃である。

各論作成日:2023年11月10日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
黒星病	植付前 資材消毒を行う。 (資材消毒の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・17℃くらいで冷涼、多雨時に発病が多い。 ・ハウスの日中温度が20℃以下、夜間10℃以下に発生が多くなるので適切な温度管理を行う。 ・苗床及び定植後に薬液が心部にもよくかかるよう薬剤を散布する。
灰色かび病	植付前 1. 低湿地は暗渠排水を行う。 2. 湿地では高畦にし、全面マルチ又は敷ワラを行う。 生育期 1. 施設栽培では通風換気を良好にする。 2. 発病前から適用薬剤を散布する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照) 3. 適用薬剤(くん煙剤)を使用する。 (くん煙剤一覧の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・20℃で多湿が続くと発病する。 ・近紫外線除去フィルムを用いると、分生孢子、子のう盤の形成が抑制され防除の効果がある。しかし、ミツバチを導入する場合は近紫外線除去フィルムは使用しない。
菌核病	植付前、生育期 1. 低湿地では排水をはかる。 2. 湿地では高畦にし、全面マルチを行う。 3. 施設栽培では通風換気を良好にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・低温(20℃以下)多湿時に発病しやすい。
うどんこ病	植付前、生育期 1. 耐病性品種を使用する。 2. 密植をさけ、ハウス、トンネル内の換気透光をはかる。 3. 本葉10~14枚位になったら早目に台木の子葉を除く。 4. 適用薬剤を散布する。しかしDMI剤は連用すると耐性菌が出現するため注意する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照) 5. 適用薬剤(くん煙剤)を使用する。 (くん煙剤一覧の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルームレス台木に接ぎ木したキュウリは発病しやすい。
疫病 立枯性疫病	植付前 1. 床土、本ぼの土壤消毒を行う。 (土壤くん蒸剤の項参照) 2. 資材を洗浄する。(資材消毒の項参照) 3. 排水不良地は高畦とする。 4. 石灰を使用し土壤酸度の矯正を行う。 生育期 1. かん水量を少なくし、地表面を乾燥させる。 2. 被害株は抜き取り、ほ場外へ持ち出す。 3. 立枯性疫病の発病を見たら、適用薬剤を灌注する。	<ul style="list-style-type: none"> ・カボチャ台木は発生が少ない。 ・ハウス内の乾燥をはかる。 ・キュウリ、スイカ、カボチャなどウリ科植物以外は侵さない。 ・一度発病すると遊走子が水中を泳いで分散し、容易に伝染する。
斑点細菌病	播種前、育苗期 1. 資材消毒・刃物の消毒を行う。(資材消毒の項参照) 2. 育苗期に発病した株は早めに抜き取る。 生育期 1. ハウス内温度の急激な変化を避ける。 2. 病葉、病果、病株をほ場外へ持ち出す。 3. 地表面の残さは残らず集めてほ場外へ持ち出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・無機銅剤は幼苗期、高温時の散布では薬害が生ずることがある。 ・無機銅剤の中で、銅含量の高いものは効果が高いが、葉の硬化等の薬害が出易くなるので注意する。 ・有機銅剤は無機銅剤に比べやや効果は劣るが、薬害は少ない。
ホモプシス 根腐病	植付前、生育期 1. 土壤消毒または太陽熱消毒・土壤還元消毒を行う。 (土壤くん蒸剤、太陽熱消毒法による土壤病害虫の防除、土壤還元消毒法による土壤病害虫の防除の項参照) 2. 被害株の根群は抜き取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌の発育適温は24~28℃、最高発育限界は33℃、死滅温度は土壤中で38~40℃24時間以上、42℃6時間以上、44℃3時間以上、46℃1時間以上である。

各論作成日:2023年11月10日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
モザイク病 〔 ・CMV ・WMV2 ・PRSV ・ZYMV 〕	育苗期、生育期 1. 育苗床、ハウス、温室の開口部は防虫ネットを張る。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	・高温、乾燥下で発生が助長される。 ・カボチャ台木に接ぎ木したキュウリは ZYMV、CMV、WMV2、PRSV 等の重複感染により急性のしおれ症状を示す。
緑斑モザイク病 (KGMMV)	播種前 1. キュウリ、台木用種子は消毒したものを使用する。 2. 床土、本ぼは無病土または無病ぼを選定する。 3. 発病ほ場は3~4年以上の輪作を行う。 4. その他はスイカの緑斑モザイク病の項に準ずる。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	
黄化病 (BPYV)	育苗期、生育期 1. 育苗中からオンシツコナジラミの防除を徹底する。 (コナジラミ類防除対策の項参照) 2. 施設栽培では、育苗床、開口部を防虫ネットで被覆する。 (防虫ネットによる防除の項参照)	・ハウス施設周辺の作物、雑草の防除も徹底する。
黄化えそ病 (MYSV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照、キュウリ黄化えそ病の防除対策の項参照)	・果実表面にモザイク斑を生じることがある。
退緑黄化病 (CCYV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照、キュウリ退緑黄化病の防除対策の項参照)	
ネコブセンチュウ	植付前 土壌消毒を行う。(土壌くん煙剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	・太陽熱消毒、土壌還元消毒の効果が期待できる。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項、土壌還元消毒法による土壌病害虫防除の項参照)
チャノホコリダニ	生育期 1. 被害株を早期に発見し、少発生のうちに防除を徹底する。 2. 天敵農薬スワルスキーカブリダニ(野菜類〈施設野菜〉で登録)を使用する。 (天敵農薬による防除の項参照)	・苗による持ち込みや、コナジラミ類の脚に取り付いて移動することがある。 ・周辺の雑草地等が発生源となることもあるため圃場周りの環境整備を行う。 ・摘葉や摘芯後の残さは、チャノホコリダニの拡散を防ぐためビニール袋等に入れ持ち出す。 ・生長点付近の新葉に寄生し、葉が奇形する。 果実では幼果に寄生すると曲がり果となり、サメ肌状となる。

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						つる枯病	菌核病	炭疽病	うどんこ病	果実汚斑細菌病	褐色腐敗病	アブラムシ類	ハダニ類
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	-	○	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	○	-	-	-	-	-
3	アントラコール顆粒水和剤		普	プロピネブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-
4	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	-	-	-	○	-	-	-	-
5	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24, M1	-	-	-	○	○	-	-	-
6	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	-	-	-	-	-	-
7	サンヨール		普	DBEDC	M1	-	-	-	○	-	-	○	○
8	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11, 7	○	○	○	○	-	○	-	-
9	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-
10	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メパニピリム	U13, 9	-	-	-	○	-	-	-	-
11	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	-	○	○	-	-	-	-
12	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	○	-	-	-	-
13	スミブレンド水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.プロシミドン	10, 2	○	○	-	-	-	-	-	-
14	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	○	○	-	-	-	-	-	-
15	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	-	-	-	-
16	ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5, 21	○	-	○	-	-	○	-	-
17	ドキリンフロアブル		普	有機銅	M1	○	-	○	-	○	-	-	-
18	トップジンMペースト		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-	-	-
19	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	○	-	-	-	-	-
20	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	○	-	-	-	-
21	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6, 3	-	-	-	○	-	-	-	-
22	フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M5, 4	○	-	○	-	-	○	-	-
23	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリ カルブイソプロピル	M5, 40	-	-	○	-	-	○	-	-
24	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	○	-	-	-	-
25	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	○	-	-	-	-
26	ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名							
						つる 枯病	菌 核病	炭 疽病	う どん こ病	果 実 汚 斑 細 菌 病	褐 色 腐 敗 病	ア ブ ラ ム シ 類	ハ ダ ニ 類
27	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	○	○	-	-	-	-	-
28	ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	○	-	-	○	-	-	-	○
29	ポリペリン水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ポリオキシシ	M7、19	○	-	○	○	-	-	-	○
30	ラミック顆粒水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ピリオフェノン	M7,50	-	○	-	○	-	-	-	-
31	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	-	-
32	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	○	-	-
33	レーバスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-
34	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	○	-	-	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アブラムシ類	ミナミキイロアザミウマ	アザミウマ類	ワタアブラムシ	オオタバコガ	ハダニ類	コナジラミ類	ウリハムシ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ネコブセンチュウ	ウリノメイガ	うどんこ病	
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
11	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-
12	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-
13	コルト顆粒水和剤	抑制	普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
14	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	スターマイトフロアブル		普	シエノピラフェン	25A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
19	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ダイアジノン乳剤40		劇	ダイアジノン	1B	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	33	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
22	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ダブルフェースフロアブル		普	1.ピフルブミド 2.フェンピロキシメート	25B、21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

* すいかにおけるアドマイヤーフロアブルの使用時期は、ただし書きに注意；(ただし、露地栽培については着果後)。

野菜類-うり類-うり類(成熟)-すいか-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アブラムシ類	ミナミキイロアザミウマ	アザミウマ類	ワタアブラムシ	オオタバコガ	ハダニ類	コナジラミ類	ウリハムシ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ネコブセンチュウ	ウリノメイガ	うどんこ病
25	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
26	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-
29	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
30	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
31	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
32	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
33	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
34	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
35	パロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
36	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
37	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-
39	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
41	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリブロール	28	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
42	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
43	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-
45	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
46	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニリブロール	28	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-
47	ラグビーMC粒剤		普	カズサホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-

13-(4) すいか（野菜類、うり類(成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
立枯病 つる割病 黒点根腐病	播種前 1. 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 2. 発病ほ場は、土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 3. つる割病発病地では、「かちどき2号」、「台丈夫」、 「トップガン」、「台力」等の台木に接木する。	
つる枯病	植付前 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 生育期 1. 適用薬剤の予防散布を行う。 2. 茎に発病した場合には、病患部に塗布剤を塗布する。	
うどんこ病	生育期 1. 密植を避け、ハウス、トンネル内の換気、採光を図る。 2. 発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。	
緑斑モザイク病 (CGMMV)	植付前 発病ほ場は3~4年以上の輪作を行う。 生育期 1. 発病株の根は可能な限り掘り取り、ほ場外へ持ち出す。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 収穫後 茎葉、根、マルチ材を集めてほ場外へ持ち出す。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	
モザイク病 ・CMV ・WMV2 ・PRSV ・ZYMV	植付前 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 施設では、開口部を防虫ネットで被覆する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
退緑えそ病 (CCYV)	植付前 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 施設では、開口部を防虫ネットで被覆する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. コナジラミ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
ネコブセンチュウ	植付前 土壌消毒を行う(土壌くん蒸剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	

野菜類－うり類－うり類(成熟)－メロン－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名										
						うどんこ病	つる枯病	べと病	苗立枯病	炭疽病	斑点細菌病	菌核病	疫病	アブラムシ類	ハダニ類	
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
5	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
6	銅パーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
7	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
8	キノドー水和剤40		普	有機銅	M1	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
9	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
10	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-
11	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
13	トップジンMペースト		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアパリカルブイソプロピル	M5、40	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
18	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
19	ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ポリオキシンAL水溶剤		普	ポリオキシン	19	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
22	ポリベリン水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ポリオキシン	M7、19	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
23	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ヨネボン水和剤		普	ノニルフェノールスルホン酸銅	M1	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
26	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M3、4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—メロン—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						トマトハモグリバエ	ミナミキイロアザミウマ	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	む	バーリーフコナジラミ(シル	タバココナジラミ類	ハモグリバエ類	ハダニ類	ウリハムシ	ネコブセンチュウ
1	アクトラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグリメック	抑制	劇	アバメクチン	6	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-
3	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
5	アドマイヤー水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
9	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
11	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
12	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-
13	コルト顆粒水和剤	抑制	普	ピリフルキナゾン	9B	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
14	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルバメクチン	6	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-
15	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
18	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
19	ダイアジノン乳剤40		劇	ダイアジノン	1B	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
20	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
21	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
22	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
23	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-
24	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-

*メロンにおけるアドマイヤー水和剤の使用時期は、ただし書きに注意；(ただし、露地栽培については着果後)。

野菜類-うり類-うり類(成熟)-メロン-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						トマトハモグリバエ	ミナミキイロアザミウマ	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	む	タバココナジラミ類(シルバリーフコナジラミを含む)	ハモグリバエ類	ハダニ類	ウリハムシ	ネコブセンチュウ	ネキリムシ類
25	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
26	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
27	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
28	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
29	バロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
30	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
31	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
33	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
34	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
35	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニリプロール	28	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
37	ラグビーMC粒剤		普	カズサホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—かぼちゃ—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						うどんこ病	つる枯病	べと病	疫病	炭疽病	白斑病	フザリウム立枯病
1	アフットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-
2	アミスターオブティフロアブル		普	1.TPN 2.アゾキシストロビン	M5、11	○	-	○	○	-	-	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	-	-	○	○	-	-	-
4	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	○	-	-	-	-	-	-
5	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-	-
6	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	-	-	-	-	-	-
7	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	○	○	○	○	-	-
8	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メバニピリム	U13、9	○	-	-	-	-	-	-
9	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	-	-	-	-	-	-
10	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	-	○	-
11	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	○
12	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-
13	フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	○	-	-	-	-	-	-
14	プロポーズ顆粒水和剤		普	1.TPN 2.ベンチアパリカルブイソプロピル	M5、40	○	-	○	○	-	-	-
15	ペフドー水和剤		普	1.イミノクタジン 2.銅	M7、M1	○	-	-	○	-	○	-
16	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	-	-	-	-	-	-
17	ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	○	○	-	-	-	-	-
18	ポリバリン水和剤		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシ	M7、19	○	○	-	-	-	-	-
19	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-
20	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	○	-	-	-
21	リドミルゴールドMZ		普	1.マンゼブ 2.メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	○	○	-	-	-

野菜類ーうり類ーうり類(成熟)ーかぼちゃー殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アザミウマ類	コナジラミ類	アブラムシ類	ハダニ類	コガネムシ類幼虫	ケラ	ネキリムシ類	ウリハムシ	カボチャミバエ	ネコブセンチュウ	ワタアブラムシ	うどんこ病	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ
1	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
9	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
12	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
13	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
15	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
17	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
18	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
19	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-

各論作成日:2023年11月10日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

13-(6) かぼちゃ（野菜類、うり類(成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
べと病	植付前、生育期 1. 排水を良好に、肥切れさせない。 2. 敷ワラを行う。 3. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。	
うどんこ病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。 2. 密植を避け、老葉の除去を行い、採光、通気を図る。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・DMI 剤は、連用すると耐性菌が出現する。
灰色かび病	植付前、生育期 ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	
疫 病	植付前、生育期 1. 排水を良好にする。 2. マルチ栽培を行う。 3. 果実にかボチャマットを敷く。	
モザイク病 ・CMV ・ZYMV ・WMV2 ・PRSV	植付前 ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
カボチャミバエ	播種前、植付前 前年、発生が多かったほ場では、土壌中に多くの蛹が生息しているので、作付けを避ける。 生育中 被害果実は、ほ場周辺に放置しないこと。	・山間部（標高400m～1,000m）で発生が多い。 ・成虫は7月～9月頃に出現し、産卵管で幼果の内部に産卵する。

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-ズッキーニ-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						うどんこ病	灰色かび病	べと病	軟腐細菌病	菌核病	つる枯病
1	Zボルドー		普	銅	M1	-	-	-	○	-	-
2	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	-	-	-	-	-
3	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-	-	-
4	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	○	-	-	-	-
5	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-
6	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	○	-	-
7	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	-	-	-	-
8	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-	-	-	-
9	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-
10	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-
11	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	-	-	○	○
12	ヨネポン		普	ノニルフェノールスルホン酸銅	M1	-	-	○	-	-	-
13	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	-	-	-
14	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-ズッキーニ-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						アブラムシ類	フキノメイガ	アザミウマ類	コナジラミ類	オオタバコガ	ネコブセンチュウ	ハモグリバエ類	トマトハモグリバエ
1	アディオソ乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-
2	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	-	○	-	-	-
3	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-
5	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-
6	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	-	-	-	-	-	-	-	○
7	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	-	-	-
8	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-
9	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-	-	-	-
10	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-
11	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	○	-	-
12	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-
13	ブレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	-	-	-	-	○	-
14	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	-	-	-	-
15	モベソフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	-	○	-	-	-	-

13-(7) ズッキーニ（野菜類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
うどんこ病	生育期 1. 密植を避け、老化葉や発病葉の除去を行う。 2. 支柱等による倒伏防止と採光・通気改善を図る。 3. ハウス・トンネル栽培では、換気を十分に行い通風を図る。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・やや乾燥しているときに発病しやすい。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。
軟腐細菌病	植付前、生育期 1. 排水をよくして過湿を避ける。 2. 被害残さをほ場内に残さないようにする。 3. 支柱等による倒伏防止により、傷口からの感染を防止する。 4. 降雨の影響を受けやすい条件では雨よけ栽培を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・軟腐病と同じ病原菌により発病する。 ・収穫痕や葉柄が折れたりした傷口から感染して腐敗する。
灰色かび病	植付前、生育期 1. 密植を避け、採光と通気改善を図る。 2. 排水をよくして過湿を避ける。 3. マルチや敷ワラを行う。 4. ハウス、トンネル栽培では、換気を十分に行い通風を図る。 5. 花卉から感染しやすいので、果実が肥大してきたら早めに除去する。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・気温 20℃前後で多湿条件で発病しやすい。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。
べと病	植付前、生育期 1. 密植を避け、採光、通気を図る。 2. 排水をよくして過湿を避ける。 3. マルチや敷ワラを行う。 4. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行い通風を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・気温 20℃前後で多湿条件で発病しやすい。 ・葉の表裏の気孔から侵入するのでムラなく適用薬剤を散布する。
モザイク病 ・ CMV ・ ZYMV ・ WMV ・ PRSV	生育期 1. ハウスの開口部などは防虫ネットで被覆する。 2. シルバーマルチやシルバーテープなどを活用する。 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 収穫時のハサミなどによる汁液伝染に注意する。 5. アブラムシ類の防除を徹底する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場内の雑草対策を行い、アブラムシの寄生植物を作らない。 ・ウイルス病に強い品種を用いる。 (各種苗会社発表データによる) OZYMV、WMV、CMV に強い品種 「ゼルダ・ネロ」、「スプリント」 OZYMV、WMV に強い品種 「グリーンポート1号」、「グリーンポート2号」 OZYMV、WMV、PRSV に強い品種 「ブラック・ポー」、「ゼルダ・ルーチェ」 OZYMV に強い品種 「イエローポート」
疫病	生育期 1. 発病した株は抜き取り、ほ場内に放置せず速やかに搬出する。 2. 過剰施肥は、発病を助長するので適正施肥に努める。 3. 周辺からの雨水の浸入防止や、圃場の排水対策などを行なう。 4. 敷ワラやポリマルチなどを利用し、地表面から雨滴による病原菌のはね上がりを防ぐ。 5. ハウス栽培では、湿度の高まりに注意し、通風をよくする。	<ul style="list-style-type: none"> ・生育温度は 10～31℃で、25～28℃の温度と多湿条件が重なると発病が多くなる。 ・主に茎葉に発病するが、果梗、果実にも発病することがある。

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-にがうり-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						うどんこ病	べと病	炭疽病	つる枯病	斑点病	アブラムシ類	ハダニ類
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	○	-	-	-	-
3	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	○	○
4	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	○	-	-	-	-	-
5	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	○	○	-	-
6	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	○	-	-
7	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-
8	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-
9	ベルコートフロアブル		普	イミクタジンアルベシル酸塩	M7,19	○	-	-	-	-	-	-
10	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-

13-(8) にがうり (野菜類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
つる割病	植付前 1. 発病ほ場は土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 2. カボチャ台木に接ぎ木する。	<ul style="list-style-type: none"> カボチャ台木の接ぎ木栽培ではネコブセンチュウの被害が多くなるので注意する。
つる枯病	生育期 1. 適用薬剤を使用する。	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌は被害残渣上で越冬し、翌年の伝染源となるので、圃場外へ持ち出し、適正に処分する。
うどんこ病	生育期 1. 肥切れさせないようにする。 2. 摘心、摘葉をこまめに行い通風をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> 高温・多湿条件で日照不足の場合に発病が多く、茎葉が過繁茂になると発病を助長するため、通風をよくする。 発病すると病状の進展が早いので、発病葉は摘葉を行い、早期防除を行う。
モザイク病 CMV ZYMV	植付前、生育期 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 4. アブラムシ類の防除を徹底する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	
ネコブセンチュウ	植付前 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. は種前または植付前に適用薬剤(殺線虫粒剤)を使用する。 (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	
ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ)	生育期 1. 発生初期に適用農薬を使用する。 2. 施設栽培では、防虫ネット(2~4mm目)を展張し侵入を防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 若齢幼虫は葉裏から葉肉を食害するため、葉の一部が透けてみえる。 中~老齢幼虫になると、中~老齢幼虫になると、葉を巻いて潜り、内側から食害する。また、果実の内部に食入する。そのため、薬剤がかかりにくくなることから、若齢期のうちに防除を行う。